

東住吉区 町会加入促進アクションプラン (R6～R8)



令和6年9月
大阪市東住吉区役所

第1 アクションプランの位置付けと目標

1 アクションプランの背景と位置付け

- ・大阪市では、最も身近な地域コミュニティである町会への加入世帯数が減少し続け、加入率の低下に歯止めがかかっていると言いがたい状況が続いていることから、地域コミュニティの維持・活性化を目的として、令和6年3月に『大阪市町会加入促進戦略』（以下「戦略」という。）を策定しました。
- ・一方で、区や地域ごとにその特性が異なることから、具体的な加入促進策については、地域特性に沿った効果的な手法が求められます。
-

第2 町会加入率の状況

- ・ 大阪市全区、東住吉区の町会加入率は、平成31年から令和5年までの調査結果によると、ともに低下傾向が続いています。
- ・ 東住吉区では、令和5年調査結果によると、町会加入世帯数は37,292世帯、町会加入率は60.1%となっており、大阪市の平均加入率46.4%と比較して高い水準にあります。また、平成31年と令和5年の調査結果を比較すると、町会加入世帯数は3,047世帯、町会加入率は9.7ポイント減少しています。

||
||
||

第3 全区共通取組

1. 全区における加入率低下の要因として推察される項目（『大阪市町会加入促進戦略』より）

<意識的な要因>

- ・存在の認知や活動の理解度の低下
- ・金銭面や労力面といった負担感
- ・地域内のつながりに対する意識の変化等

第3 全区共通取組

2. 戦略の3つの柱と具体的な取組

町会加入にかかる課題の解決に向け、戦略の3つの柱を定め、全区において以下の取組を徹底します。

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底	建設段階からの働きかけ	• 新たに建築される集合住宅等
----------------------	-------------	---

第4 東住吉区における重点取組

1. 東住吉区における町会加入に係る課題（各地域へのヒアリング、区民アンケートの結果等による）

- 町会加入率は低下しているが、地域の助け合いを基盤とした防災活動等や地域活動が多くある。
- 町会の存在の認知や活動の理解度の低下、地域内のつながりに対する意識の変化
- 若い世代を中心とする転出入の多さ、マンション等の集合住宅への居住世帯の増加
- 町会加入にかかるメリットを感じ

第4 東住吉区における重点取組

2. 重点取組の概要

① 集合住宅への働きかけの徹底

(①-1) 集合住宅向け加入促進のための行動マニュアルの策定(当区独自取組)

<

第4 東住吉区における重点取組

取組②

戦略② 「町会プロモーション」の強化			
(②-1) 町会加入チラシのリニューアル(当区独自取組) (②			